

産業施設
大涌谷地域の
観光振興について

Q 次の4点について伺う。
 1 神奈川県管理の「自然研究路」について、平成18年度の事業内容等、町はどの程度把握しているのか

2 「大涌谷ハイキングコース」の整備内容、再開時期等、また、火山ガス対策をどのように考えているのか

3 「(仮称)箱根火山学習センター」について、平成17年度実施した内容、また、18年度は何を実施し、さらに今後の見通しについて

4 「大涌谷地域の誘客宣伝」について、今後どのように考え、実施していくのか

A 1 点目について、一つ目としては、今まで閉鎖していた自然研究路の延命地蔵からハイキングコース入口までの一部を整備し、開放するものである。二つ目としては、二酸化硫黄と硫化水素の火山性ガスの濃度が警戒濃度以下と安定しているが、予断を許さない状況であるので、観光客の安全

を図るため、火山性ガスが警戒濃度を超えた場合に、観光客に下山を促すための警報スピーカー装置を、たまご蒸し場に1基、自然研究路入口に1基、その中間に1基の計3基を設置するものである。また、火山性ガスが警戒濃度を超えた場合の入山規制等をするための門扉を自然研究路入口に2箇所、たまご蒸し場付近に1箇所、ハイキングコース入口に1箇所の計4箇所に設置するとともに、これらに関連した警告看板等を数箇所設置するものである。2 点目について、まず、ハイキングコースの整備内容については、既存のコースの木段や水切り、土留め柵の設置及び草刈等の整備と、火山性ガスが警戒濃度を超えた場合に、観光客に下山を促すための警報スピーカー装置を、ハイキングコースの中腹に1基設置し、これに伴う警告看板等をハイキングコース入口と中腹、早雲山入口と駒ヶ岳山頂、及び大涌谷ハイキングコ



大涌谷(自然研究路)

いる場所の現況測量委託を行い、10月には基本構想を策定したものである。平成18年度については、基本構想を基に展示構想や管理運営等について、引き続き研究していきたいと考えている。

また、今後の見通しについては、大涌谷園地対策のために設置されているいろいろな協議会や(仮称)大涌谷園地の整備・活性化検討会において、大涌谷全体の活性化について、行政と民間と一緒に検討することとした

ので、その結果を見て火山学習センターの整備について、方向性を見出していききたいと考えている。4 点目について、観光展などの機会を捉え、外に向けて積極的な宣伝に努め、大涌谷で商売をされている方やロープウェイ、バスなどの運輸関係事業者、環境省、神奈川県、箱根町とで大涌谷への来訪者増に結び付くような効果的な方策について、協議をし、実施していきたいと考えている。

次に、火山対策については、火山ガス濃度測定器類の整備や警報スピーカー装置の設置、入山禁止の門扉設置、警告看板等の設置を行い、県と町が連携して観光客やハイカーの安全の確保に努めていきたいと考えている。3 点目について、まず、平成17年度は、建設を予定して

いる場所の現況測量委託を行い、10月には基本構想を策定したものである。平成18年度については、基本構想を基に展示構想や管理運営等について、引き続き研究していきたいと考えている。また、今後の見通しについては、大涌谷園地対策のために設置されているいろいろな協議会や(仮称)大涌谷園地の整備・活性化検討会において、大涌谷全体の活性化について、行政と民間と一緒に検討することとしたので、その結果を見て火山学習センターの整備について、方向性を見出していききたいと考えている。4 点目について、観光展などの機会を捉え、外に向けて積極的な宣伝に努め、大涌谷で商売をされている方やロープウェイ、バスなどの運輸関係事業者、環境省、神奈川県、箱根町とで大涌谷への来訪者増に結び付くような効果的な方策について、協議をし、実施していきたいと考えている。

編集後記

2月、イタリアのトリノで行われた冬季オリンピックでは、5、6個メダルが獲得できるのではと、マスコミ報道がされ、私たちも大いに期待をしておりましたが、現実には、女子フィギュアスケートの荒川静香選手の金メダル1個という結果でした。

荒川選手は、ショートプログラムで3位につけ、メダルのなかったフリー演技に臨みました。

荒川選手の前に演技をした、金メダル候補のコーエン選手がジャンプを2度続けて転倒したのを見て、演技直前まで予定していたジャンプを安全確実なジャンプに変更し、また、「イナバウアー」で観客を魅了し、「ノミミス」で演技を終え、見事に金メダルを獲得しました。

私も、荒川選手のように現実に即した、柔軟な判断力を身に付けなければならぬと思っオリンピックでした。

(勝俣 記)

- 議会だよりはこね編集委員会
 委員長 勝呂 昌子
 副委員長 村野由紀子
 委員 勝俣 公好